

学校評価シート（自己評価）

松 山 幼 稚 園

I 自己評価

1. 幼稚園の教育目標

(教育方針)

心身共に健全な幼児の成長発達のために、適切な環境のもと、集団生活を通して幼児の自主性を育み、豊かな人間性を養うべく、この時期に必要な諸能力を開発を助長し、時代の変化に対応できる未来の子ども達を育てる幼児教育を推進する。

(教育目標)

丈夫なからだで元気よく、豊かな心でたくましく、みんなと仲良く遊べる子

2. 今年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標・計画をもとに設定した 学校評価の具体的な目標や計画

集団生活の中で遊びを通して他者の存在を認め合いながら、心の成長と人間関係を深めていく。
興味感心に寄り添い、自発的に行動できる環境を整えていく。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果（※）	結果の理由
(1) 教育課程・指導	A	様々な体験を経験し、心が育まれるよう努めた。指導計画では、行事や活動等の内容がマンネリ化しないよう子どもたちが喜ぶものとは何かと考えながら計画を立てた。また、子ども達の実態に合わせたことで、興味関心をより深めることができた。
(2) 健康と安全への配慮	A	子どもたちが安全に過ごせるよう、常に危険な場所がないか周囲をよく見るよう心掛けている。様々な有事を想定しての避難訓練をし、共通理解を図っている。絵本や実物を見たり触って、食育の大切さを伝え、楽しい雰囲気ですべてが出来るよう環境作りをしている。
(3) 幼児の見取と理解・対応	A	一人ひとりの性格を把握しながら対応し、いつも、子ども達の目線に立ち、子どもたちと共感し合いながら、気持ちを受け止めるよう心がけた。幼児同士のトラブルはわだかまりの残らないよう丁寧に仲裁をするよう心がけている。
(4) 教師としての資質 能力・良識・適性	A	教師としての役割を意識しながら、保護者との信頼関係を深めることに務めた。身近な自然との関りの学びの大切さを感じ、体験できる環境をより増やしていきたい。
(5) 保護者への対応	B	情報を伝わり難い部分があったので、今後も誰もが伝わりやすいよう配慮し、連携を保つよう心がける。 クレームがあった場合は、真摯に受け止めすぐに相談し、迅速に対応を心掛けた。

(6) 地域の自然や社会との関り	A	幼年消防活動や地域の公共機関(図書館見学、市役所訪問など)を通して、地域の方々と触れ合い公共マナーを学び関りを深められた。小学校見学で授業の様子や校舎内の見学ができ、就学を控えた子どもたちにとってよい機会になった。
(7) 特別支援教育	A	巡回相談等でアドバイスをいただき、保育に生かしている。また、電話や保護者の方を通じて共有を行っている。
(8) 研修	A	常に保育を振り返り、研修を通して学び、日頃から子どもたちの様子を伝え合い共通理解を図っている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果(※)	結果の理由
A	集団生活の中で、興味や関心をもてる環境づくりを心掛け、協調性、集中力、達成感を味わい、感性や知識の高まりを感じた。地域との交流により子どもたちが公共のマナーや視野が広がり興味が広がった。また、子どもの安全を配慮し、常に保護者との連携を図るよう努めていた。一人ひとりを把握しながら対応し、個々の成長を見守り、他者との関りや自然から心の成長が培われ、今後も更なる保育の充実に向けた取り組みを心がけていきたい。

○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
(4)教師としての資質・能力 ・良識・適性	役割による仕事の能率をはかり、全体の事にも目を向けられるよう心がける。
(5)保護者への対応	保護者へ適切に情報が伝わるよう常に意識し、保護者と連携を取りあい、子ども達の成長を見守る。
(7)特別支援教育	特別支援について、子どもの個性を認め現状を把握し、専門機関との連携を取り教職員同士の相互理解を深め、よりよいサポートを心がける。

学校評価シート（学校関係者評価）

幼稚園 学校関係者評価委員会

日 時 2026年 3月 30日

10時～11時（時間）

出席者 評価委員（4）人

評価委員（4）人

1. 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

目標、計画をしっかりと立て、また、幅広い項目で設定されており、適切だったと考える。

2. 評価結果の内容は適切であったか

設定した目標・計画・評価項目に従って適切な結果であると考えている。

3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

今後取り組むべき課題が設定されている点においては適切であると考えている。

4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか

年々、子ども達の数も減少している中、園児数確保に苦慮していると思います。他園との違いを出す為にも、評価項目にも挙げられていた、マンネリ化することなく色々な事に取り組んでいくこともよいのではないかと。また、若い先生の新しい考えとベテランの先生の豊富な経験や知識が合わさればより良くなっていき、今後取り組むべき課題について適切に行っていくのではないかと考えるとのアドバイスをいただいた。